



令和5年度 多摩市立聖ヶ丘小学校 学校経営方針

多摩市立聖ヶ丘小学校長

高藤 浩

1 はじめに

一人ひとりの児童が未来に希望をもち、自信をもって生きていくためには、生きる力の3要素である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む必要があります。

本校では、生きる力の各要素に応じた学校教育目標を「考える子」「助け合う子」「元気な子」の育成とし、コロナ禍においても、児童が安心して楽しく学ぶことができるよう教職員が一丸となり、知恵を出し合いながら教育活動を継続してきました。

令和5年度新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられることを受け、教育活動を充実させ児童相互が、人と人とのつながり、関わりをもてるようにしていきたいと考えます。

令和5年度本校の学校経営として、児童一人ひとりが自他を尊重し、互いに力を合わせたり、支え合ったりすることに心地よさを感じられるよう、家庭・地域と連携・協働した教育を推進していきます。

保護者の皆様のご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

2 目指す学校・児童の姿

学校教育目標の達成に向けて、前記の学校経営上の課題解決を図り、以下の学校像・児童像の具現化を目指します。

(1) 目指す学校像

- 児童にとって、安心して楽しく学べる居場所としての学校
- 保護者にとって、児童を安心して通わせられる学校
- 地域にとって、児童の学びと成長を共に支えられる学校

(2) 目指す児童像 (◎は重点)

- 考える子 (よく考えて工夫できる児童)
- 助け合う子 (人と力を合わせることに喜びを感じる児童、人権尊重の精神に満ちた児童)
- 元気な子 (心身共に健康で元気な児童)